

桜萩会だより

第12号

宮崎県立小林中学校
小林高等女学校
小林高等学校
関東地区同窓会

編集兼発行人
永崎秀一郎
事務局

136 東京都江東区
南砂2-3-8-930

石渡方
03(615)1795

昭和63年5月10日発行

第十三回

桜萩会総会に当って

会長 瀬戸山 孝一(田中十一回)

今年、本当におかしな気候でした。東京の桜もやつと満開の時をこえた模様です。桜と云うと田制中の小林中学校の校門の脇から剣道場又構堂の方へかけて、桜の並木が続いておりました。会員の皆様もそうであつたと思いますが、満開の桜を見るたびに、入学式の日、希望に燃えた少年を迎えてくれた校門脇の桜花爛漫の桜並木を思い出します。あれから数年或いは数十年を経た今日、「数百名の同窓生が、この関東地区に在住してあります。その同窓生の心の寄り所である」とし、又次第に

ありつ、ある桜萩会の第十三回桜萩祭りが亦開催されます。私は第十二回の総会で会長に選ばれました。そして会長二年目のスタートに当る第十三回の総会を迎えることになりました。クラス会(同期会)は横のつながりです。同窓会は縦のつながりです。この縦と横との織りなす布が桜萩会であり、その布によって包まれ育まれる暖かさが桜萩会の存在価値であります。私達の、特に関東地区に在住を定めていた同窓の皆様の心の隅に、霧島連山の麓に広がる故郷への望郷の念がひっそり

と常に占めていることと思います。その望郷の念の盛りあがり桜萩まつりであり、紫の春の峰……「朝日ひたす国にして……」田中、田女ヶ丘に養はしるく……田中、田女高校の夫々の校歌に充たされた青春時代と育んでくれた故郷の山野を想いながら乾杯しようではありませんか。多くの会員の皆様が出席してくださることを心から願ひながらペンを握ります。

関東地区同窓会の益々の発展を心からお慶び申し上げます。昨年度は久しぶりに皆様にお会いできて、大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。校のためにいろいろとご支援いただきましたことについて、厚くお礼申し上げます。六二年度は地域をはじめ先輩各位の期待通り、大学入試の合格数も制度改善のため前年度との比較はできませんが、国公立大実数一四四名と極めて順調で、九大合格者は県内トップとなり、医学部十二名合格という本校にとつては新記録となりました。また、ご承知のように昨年末行われました全国高校駅伝大会においては、新記録で堂々三位入賞を果たし、往年の強豪復活とマスコミで報道されましたが、その後も各大会毎に記録を更新して、久しぶりに今年には全国優勝を賭けて都大路を走るべく、たゆまぬ練習に励んでいくと信じております。更に、女子バスケット、女子陸上部は共に依然として

の庭は、希望を失った「子科練帰りの幼年学校帰り」航空隊帰り」といふ命知らずが闊歩していた時代であつた。そんな混乱の中で将来の生活設計など考える余裕などなかつたような気がする。昭和三十三年、新しい学校制度が設けられ我々も自動的に高等学校へと進んでいった。この頃からみんなも落ち着きが見られるようになってきた。私自身、親父が教育者であつたせい、自分から教師への道を志し、昭和二十七年卒業と同時に上京、体育学専門の大学へと進んだ。昭和三十一年卒業、ある大学の付属高校へ勤め、試行錯誤の教師生活が始まった。そんな中で一つの目標に向かって、自分にできなかったことを教える子に求め、寝食を忘れて没頭した時代があつた。そして苦節十年、やっと納得できる作品を完成させた。ミューヘン・オリピックのバレーボール競技で、二人時間差なる攻撃法をみだし、世界のバレーボールとして活躍した。森田淳悟(当時、日本鋼管。現日体大監督)という作品がそれであ

ニヤニヤと笑う先生方に、仲間同志が誘ひ合つてのお礼参りのハシゴ行脚である。A先生のお宅では、赤飯のお握りがモロフタにいっぱいならべられ、お煮メが大皿に盛りだくさん。座敷に招かれ、膝を窮屈そうに並べると、奥さんが手際よくめいめいの前にお膳を置かれる。「センセイ、オセワナリマシタ」。中学生生活五年間の積る想いをニキビ面なりに殊勝に胸裡に去来させながら、「アイガトゴワシタ」。畳に手をついて低頭。「ウン、ウン、今日ハ特別ジヤ、マ、イッパイ、ドゲンジヤ?」焼酎が茶碗に注がれる。昭和十九年の春といえ、戦況も末期症状を呈し、いかに農村地帯とはいえ、食糧も逼迫していたから、今にして想えば、先生の奥さん方も、ずい分料理の材料に腐心されたに違いない。道の途中で出遭つた他の連中から、B先生宅ではゴッソが出たゾツと情報を得るや、急遽、予定を追加してB先生宅へなんて事もなかつたわけではない。韓国岳の硫黄畑の噴煙をまっ赤に染めて陽が沈み、森も田圃も暗くなる頃まで、私も何軒かの先生宅を回り歩いたように思う。一体、何人やつて来るのか、米なのか、皆目、見当もつかないま、

に、それでも喰べ物など準備して、旺盛な食いつらしおらしいお礼心で包み込んだ気まぐれな若者どもを待つて下さつた先生方ご夫妻、いま、あらためて心からお礼を申しあげたい。ピンタを竹刀で叩かれ、フタンピラを平手でなぐられたりということもあつた五年間の幕切れ、先生方の奥さんの料理で暖かく祝つてもらつた卒業の日のお礼参りは、40数年を経た今でも、春になれば想ひ出される若き日のヒトコマである。

第十三回桜萩会祭りが

盛会であることとを……

幹事長 永崎 秀一郎(高四回)

新緑の候、桜萩会会員の皆様には御健勝にてお越しのことと思います。今年もまた桜萩祭りの季節がやってきました。開催日は六月十八日(土)。会場は昨年と同じ交通至便な日本倶楽部です。多数の方々の御参加をお待ちしております。卒年幹事を中心にお互いに声をかけ合つて参加頂くのが祭りを盛り上げる最良の道だと思います。各卒年毎の同窓会の集合体だと考えて下さい。皆様の期待にこたへるために何度か幹事を重ねて、幹事一同素晴らしい企画を練るべく努力しております。

語り合ひ、助け合つて行く同窓会が桜萩会本来の在り方だと理解して頂きたいと思ひます。その役割の一部を担うのが会報ですが、今回をもちまして第十二号発行となります。今後とも発行は欠かすことなく続けて参りたいと思ひます。年間行事もゴルフ大会、ソフトボール大会、映画鑑賞会、ハイキング等開催しておりますが、まだく参加者が思うように集まらず、苦慮しているのが現状です。どうか行事開催の折は、各卒年幹事を通じて御連絡をお願いします。一人でも多くの方に参加されるよう、お願い致します。母校も川畑校長をお迎えして、スポーツに勉強に励み、進学校としての名声を益々高くしているようです。

終戦直後、最後の田制中学生として入学した昭和二十一年、当時、大方の若者達が抱いていた「軍人への道」が閉ざされ、なかば、自暴自棄の時代であつたかと思われ、学舎

と常にお招きしております。どうぞ幹事一同に絶大なる御支援御鞭撻を賜りまして、総会が盛大であることとを切に念願するものです。最後に皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

創造性を求めて
立正大学教授 原田 智(高四回)

と知識を得ることができた。現在は若い人材育成のため日本国中を飛びまわっている今日この頃である。青年時代は「自分自身」創りに励み、今後の人生は再び挑戦してみたいことがある。目標達成に向かって努力していきたく思っている。人生八十年という時代になった今日、その意義ある長い道のりを、常に創造性を求めて活気ある人生にしていきたい。そのことが若さと健康を保つ秘訣でもある。創造性をなくして、人生なし。同窓生諸子の健康と益々の繁栄を祈る。

に、それでも喰べ物など準備して、旺盛な食いつらしおらしいお礼心で包み込んだ気まぐれな若者どもを待つて下さつた先生方ご夫妻、いま、あらためて心からお礼を申しあげたい。ピンタを竹刀で叩かれ、フタンピラを平手でなぐられたりということもあつた五年間の幕切れ、先生方の奥さんの料理で暖かく祝つてもらつた卒業の日のお礼参りは、40数年を経た今でも、春になれば想ひ出される若き日のヒトコマである。

校長挨拶

校長 川畑 安雄(田中二十回)

関東地区同窓会の益々の発展を心からお慶び申し上げます。昨年度は久しぶりに皆様にお会いできて、大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。校のためにいろいろとご支援いただきましたことについて、厚くお礼申し上げます。六二年度は地域をはじめ先輩各位の期待通り、大学入試の合格数も制度改善のため前年度との比較はできませんが、国公立大実数一四四名と極めて順調で、九大合格者は県内トップとなり、医学部十二名合格という本校にとつては新記録となりました。また、ご承知のように昨年末行われました全国高校駅伝大会においては、新記録で堂々三位入賞を果たし、往年の強豪復活とマスコミで報道されましたが、その後も各大会毎に記録を更新して、久しぶりに今年には全国優勝を賭けて都大路を走るべく、たゆまぬ練習に励んでいくと信じております。更に、女子バスケット、女子陸上部は共に依然として

健在で、県内を制覇しております。この春、野球部が十二年ぶりに九州大会予選でベスト八入りを果たし、優勝校に敗れはしたものの大健闘して、夏の大会への夢をつなぐ快挙を果たしました。六三年度は本校にとり六二年度の飛躍をバネにした躍進の年とすべく、辰年にあやかり昇龍の勢いで本校の隆盛発展に努めて参りたいと思ひます。今後とも皆様方の絶大なご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。挨拶といたします。

「お礼参り」

原田 経紀(田中十九回)

卒業式が終つて、県立小林中学校の校門を出ると、気心の合つた仲間達で思い／＼に四散する。行く先はそれぞれ恩師の宅。2クラス80名余の卒業生が、クラス担任の先生は勿論、ドケンシテン、アイサツラセン

と知識を得ることができた。現在は若い人材育成のため日本国中を飛びまわっている今日この頃である。青年時代は「自分自身」創りに励み、今後の人生は再び挑戦してみたいことがある。目標達成に向かって努力していきたく思っている。人生八十年という時代になった今日、その意義ある長い道のりを、常に創造性を求めて活気ある人生にしていきたい。そのことが若さと健康を保つ秘訣でもある。創造性をなくして、人生なし。同窓生諸子の健康と益々の繁栄を祈る。

に、それでも喰べ物など準備して、旺盛な食いつらしおらしいお礼心で包み込んだ気まぐれな若者どもを待つて下さつた先生方ご夫妻、いま、あらためて心からお礼を申しあげたい。ピンタを竹刀で叩かれ、フタンピラを平手でなぐられたりということもあつた五年間の幕切れ、先生方の奥さんの料理で暖かく祝つてもらつた卒業の日のお礼参りは、40数年を経た今でも、春になれば想ひ出される若き日のヒトコマである。

映画鑑賞会及び試写会のお知らせ

桜萩会年行事であります黒木映画監督(高三回)の映画試写会を開催いたしますので、お知らせします。黒木監督は「竜馬暗殺」等、数々の傑作を製作してこられ、我々桜萩会が誇る名監督であります。此の度新作「明日」を製作され八月十一日より岩波ホールで公開されます。封切を前にして公開試写会を七月二十日、有楽町マリオン朝日ホールにて行われます。皆様共々、この試写会に参加しようではありませんか。黒木監督より、御米場をお待ちしていることとです。この映画は、一九四五年八月九日長崎に原子爆弾が投下され七万五千人の焼死、街は瞬にして廃墟と化した。その時長崎で明日を信じ、健気にも力強く生きていく人々の悲劇の前日を淡々と描きながら、あらためて生命の尊さを痛感させてくれる作品です。尚、桜萩会でもこの傑作を上映、黒木監督を開く茶話会を開催する様企画しますので、是非御協力の程をお願い致します。



原田氏の審判



桜萩会 6月祭に参加しましょう

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 宮崎県知事
松形 祐堯
(田中十回)
〒880 宮崎市下北方町横小路
五九二八二二
電話 (〇九八五) 二二二二三〇 | 瀬戸山 孝一
(田中十一回)
〒880 宮崎市下連雀一丁目二二一三
電話 (〇四三三) 四八七三三五 | 株式会社 木下商店
代表取締役 木下 剛歌
(高一回)
〒254 平塚市夕陽ヶ丘七丁目四
電話 (〇四六三) 二二二二二五 | 総合インテリア
株式会社 上 武
本社 浦和市白根七丁目二
電話 (〇四八八) 五二一六五八
有坂久美子(旧姓後藤)
(高九回) | ステレンスサッシ
アルミ板金製作施工
大洋金属工業株式会社
代表取締役 西田 忠司
(高五回)
〒100 東京都大田区東橋谷五丁目二七
電話 (〇三三) 七四五一六四 |
|---|---|---|---|---|

桜萩会の存在価値

森山 誠一 (旧中十五回)

桜萩祭りに三年続けて欠席してしまいました。それまでメンバーのみなさんには是非出席して下さいと呼びかけてきた前幹事長として面目なく、申し訳ないことです。

全体の同窓会とは一体何だろうかと思ふと、クラスタとどう違うのだろうか。違うべきなのか。

同窓会は、クラスタの集合体という見解があります。それなら各年次のクラスタを桜萩祭りで一緒にやっても構わないと思います。それに呼ばれても構わないと思います。

でも、どこか違うようです。いや、違う何かがないかと思ふと思ふ。クラスタが横のつながりとなれば、桜萩会はタテ、斜めのつながりだと思ふ。先輩後輩の交りであり、それ、層を越えるものでありたいと思ふ。ビジネス界で異業

母校通信

西之原 恵美子 (高十八回)

今年の四月初旬の天気は例年になく雨が多く、やっと正面玄関のツツシが花を咲かせようとしています。

先月、四四〇名の卒業生を送り出しましたが、今月新たに四四二名の新入生を迎え、一カ月振りに校内に活気が戻ってきました。

昨年度を振り返りますに、駅伝部が久々に活躍をしてくれて、校内中が喜びに沸きました。十二月の京都駅伝では、二時間六分四十七秒という宮崎県の最高記録で三位に入賞することができ、駅伝王国の名を復活させることが出来ました。今年度もこの記録に挑戦し、良い成績を出してもらいたいと思ふています。

次に卒業生の進路状況を述べてみます。進学の方ですが、国立大学の入試もAグループに更にA・Bの分割が加わってますます複雑となり、学選択が難しくなってきました。合格者数は延べ三三七名(過年度十三名)となり、実数は百五十五名(過年度十一名)で昨年にわずかに及びませんでした。しかし今年の特徴は九大二〇名、医学部に十二名の合格という点です。主な大学の合格者数

この首都圏に約二〇〇名もの同窓生が活躍中

水崎 秀一 郎

をされているのに驚く程です。大したものだと思います。これら異能の方々がお互いに励まし合い、ときに扶け合えば、一層のご発展が期待がもてます。

また、いま病床で苦しんでおられる方もあるでしょう。次の飛躍に備えて準備の中の方もいるでしょう。まだ志を得ず苦悶の中の方もいるでしょう。そういう方々みな一堂に集い、明日を語り、昨日を思い、ひと時を共にし、次への飛躍を誓い合いたいものです。

桜萩会は幹事の人達の自発的ボランティアで運営されています。誰も好き勝手にやっているわけではなく、みんな盛り返していきましょう。谷口選手がソウルオリンピックに出られるよう、「がんばれ……」と祈る。そこには、先輩も後輩もな、一体感、連帯感が生まれている。これが桜萩会の心であり、存在価値ではないでしょうか。

第五回 桜萩会ゴルフ大会開催

水崎 秀一 郎

今や恒例になった第五回桜萩会ゴルフ大会を、四月十日(日)に伊豆国際カントリークラブで盛大に開催した。コースの桜も満開、絶好のゴルフ日和であった。発会以来毎回出席のメンバーに加え、毎年新しい参加者が増え、まことに心強い限りである。

特に今回紅一点(ゴルフなら何処へでも)というゴルフ好きの齊藤(種目)智恵子さんの参加により、一段と大会のムードを盛り上げた。

このゴルフ大会に欠かすことのない前夜祭を、ゴルフ場近くの会場で開催、ゴルフ談義、昔話に花が咲き、時間のたつのも忘れる始末、焼酎の飲み過ぎで明日のプレーに影響が出るのを心配したが、全員早朝のスタートに元気に集まった。成績は次の会員が健闘し、入賞の栄冠を獲得した。

(63-4-12、成田にて)

中嶋盛雄先生(都農(事務十一)年)退職された先生
中村義人先生(野尻分校七年)でし
た。中嶋先生は同窓会員でした。又新しい赴任地で活躍なさることでしょう。

転入された先生方を紹介します。
吉本昭教(国語、宮崎西)
原田美穂(国語、中央大卒)
福澤 浩(地理、宮崎南)
岡野孝章(倫理、宮崎西)
川越登志夫(物理、泉ヶ丘)
大久保秀輝(化学、延岡西)
坂本喜三郎(英語、小林南)
新頭俊孝(農業、宮崎養護)
新倉純昭(農業、赤江養護)
関谷秀彦(事務、熊大卒)
以上でした。

優勝 大牟田 理 (高九回)

伊藤 啓子 (高十回)

アウト43イン45クロス88
ハンディ14 ネット74
永崎季一郎(高四回)
アウト42イン46クロス88
ハンディ14 ネット74
中村 蓮(高五回)
アウト62イン55クロス117
ハンディ33.6 ネット74.4
齊藤智恵子(高四回)
アウト63イン57クロス120
ハンディ41 ネット79

「若者達」

伊藤 啓子 (高十回)

五月、若者達がひとときわたくしに見える。キャンパスは新入生達で華やかなり、新入社員達はオフィスに爽やかさを運んでくる。

われ讃美す、たしかなるみずからのもちものについて……日夏耿之介の詩にこんな青春讃歌があった。人生というものを、全部、まだ「手つかず」で所有している若者達、もはや「所有」の半減したおじさんやおばさんにはそれが眩しい。それにしても、卒業と同時に、学生達のほとんどが何らかの事に就ける日本は何と幸運な国であろうか。卒業生を待ちうける企業、アルバイト・ニートの雑誌類には、あらゆる職場からの求人広告が、毎日満載されている。こんな話をイタリヤの学生達に話しても彼等はほとんど本気にしない。卒業と同時に仕事に有り付けるなんて、そんな幸運な奴などいるはずがないと誰れも思っている。企業の入社試験などほとんどないイタリヤでは、学生達は親類、縁者を頼って職場に空席が出来るまで、二年でも三年でもジッと待たねばならない。そんな同窓会からマリアは日本へやってきた。日本語学校へ通いながら、片言の日本語で、呆れる程に話している。都心のマンションに住み、夢にまでみたホンダのバイクも手に入れた。たまには香港あたりに週末旅行も楽しんでいるようだ。マリアだけでは、故郷は遠くに在りて想うもの。この言葉が思い出しますが、こうして日本に帰り、いつでも帰郷出来ると思っているとなか／＼実現しないものです。最近では、冠婚葬祭、特に行事の時にばかりしか郷里の人や身内とも会う機会がなくなってきたことを淋しく思っています。

学窓を出て二十五年、小林を離れて三十年になりました。今が一番仕事でも子育てなどの生活の面でも忙しい時ですが、時には暇を創り出して、霧島の連山をじかに眺めてみたいと思ふこの頃です。東京での同窓会や、この桜萩会がまさに貴重な素晴らしい機会を与えて頂いていると感謝しております。目を追う毎に巨大な国際都市として変容していく東京に在って、心豊かな、山紫水明の調和のとれたふるさとの永遠の存続と発展を祈るのみです。

会計報告

昭和六十二年度会計報告

左記の通り報告致します。
会計監査 有馬 憲幸

収入の部		支出の部	
年会費	275,000円	総会開催費	499,990円
年会費	180,000	幹事会費	70,427
寄附金	515,000	会報発行費	369,305
広告費	190,000	通信費	12,110
利息	49,641	通附金及謝礼	70,000
前期より繰越	404,641	振込手数料	1,200
		交通費	20,000
		ゴルフボール会場キャンセル料	3,000
		次期繰越金	568,250
合計	1,614,282	合計	1,614,282

編集後記

石渡 浩子 (旧中十二回)

新緑が目にしる季節となりまして、第十三回桜萩会総会を迎えるにあたり、皆様から原稿をお寄せ頂き有難うございました。願わくば、例年を上回る出席者で盛会であることを祈りつつ編集を行いました。

母校通信にありまますように、我等が母校も果内多数の進学校として学業・スポーツ両面で躍進しているようです。

桜萩会だよりも今回で第十二号発行となります。編集室としては年一回の発行は物心両面に亘って大変なことですが、皆様の御協力のもとに何かと頑張っ行ってきたいと思ふ。今後とも絶大な御支援を頂きますよう、お願い致します。

最後に皆様の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

編集担当
水崎 秀一 郎 (高四回)
石渡 浩子 (旧中十二回)

昭和六十二年 4月11日
昭和三十二年 3月31日

桜萩会 6月祭に参加しましょう

弁護士 立野 輝二 (旧中十七回)

事務所 東京都千代田区神田駿河台 三丁目一番地日光ビル4階
電話 (03) 二九一九四六五

洋傘及マフラーの御問屋 株式会社 前原光栄商店
前原 裕子 (高六回) (旧姓横山)
〒山 東京都台東区三筋二丁目四十五
電話 (03) 八六二一五七八

株式会社日高設計企画
代表取締役 日高 省三 (高二回)
一級建築士宅地建物取引主任者
〒166 東京都杉並区高円寺北 三丁目三十四番五
電話 (03) 三三〇一三二六
FAX (03) 三三九一九二八五

福崎税務会計事務所
福崎 幹郎 (高九回)
〒140 東京都品川区 東五反田五二一八〇一
クレール五反田八〇五
電話 (03) 四四五一〇七七

パブスナック えん Eue
齊藤 智恵子 (高四回) (旧姓樋口)
〒210 川崎市川崎区東町3-1-1 YKビル2階
電話 (044) 245-0888